

# 私の風土記

今村 雄二郎 (株式会社アイヴィス 名誉顧問)

## 第七章

### 新しい部の設立

私は裁判が結審してからしばらくのあいだ、販売活動を差し控えていた。しかし生来の商売気質が徐々に頭をもたげてきていた。日商岩井では電子機器やコンピュータ関連製品の販売は複数の部門に存在していて、一括集中的に扱う部門がなかった。

電子機器の使用目的はさまざまでも、機能、性能、保守等に関しては、かなり共通性がある。またこの種の製品の市場もますます拡大していた。そこで私は社長に直訴して、電子機器部（次に電子機器本部）の設立を提案した。

昭和 56 年（1981 年）4 月には電子機器部が、産業電子機器、民生電子機器、医用電子機器、防衛電子機器の 4 課編成、部員約 50 名で発足した。

更に各課に付帯する子会社が 3 社あり、私はそのうちの 1 社、日商セミコンダクタの社長を兼任した。また他の 1 社、日商エレクトロニクスはすでに 300 人以上の社員がいて、後に東証 2 部への上場を果たした。医用電子機器については、米国留学中から関心があって、当時未だ日本にはない MRI の導入を計画していたが、私の在任中には実現しなかった。